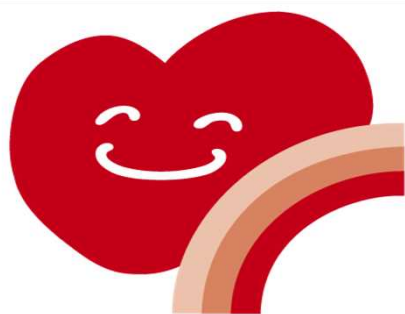


令和5年度和歌山県強度行動障害支援者 養成研修（実践研修）実践報告

令和5年度和歌山県強度行動障害支援施設・職員養成研修
（連続研修）最終報告資料



和歌山県福祉事業団

事業所名：有功ヶ丘学園
名前：貴志 涼太

施設の概要

- 名称：有功ヶ丘学園
- 経営主体：社会福祉法人和歌山県福祉事業団
- 定員：50名
- スタッフ：園長、副園長、児童発達支援管理責任者、児童指導員、保育士、看護師、管理栄養士など



事例紹介

氏 名：Aさん

性 別：男性

年 齢：17歳

障害名：自閉症スペクトラム症

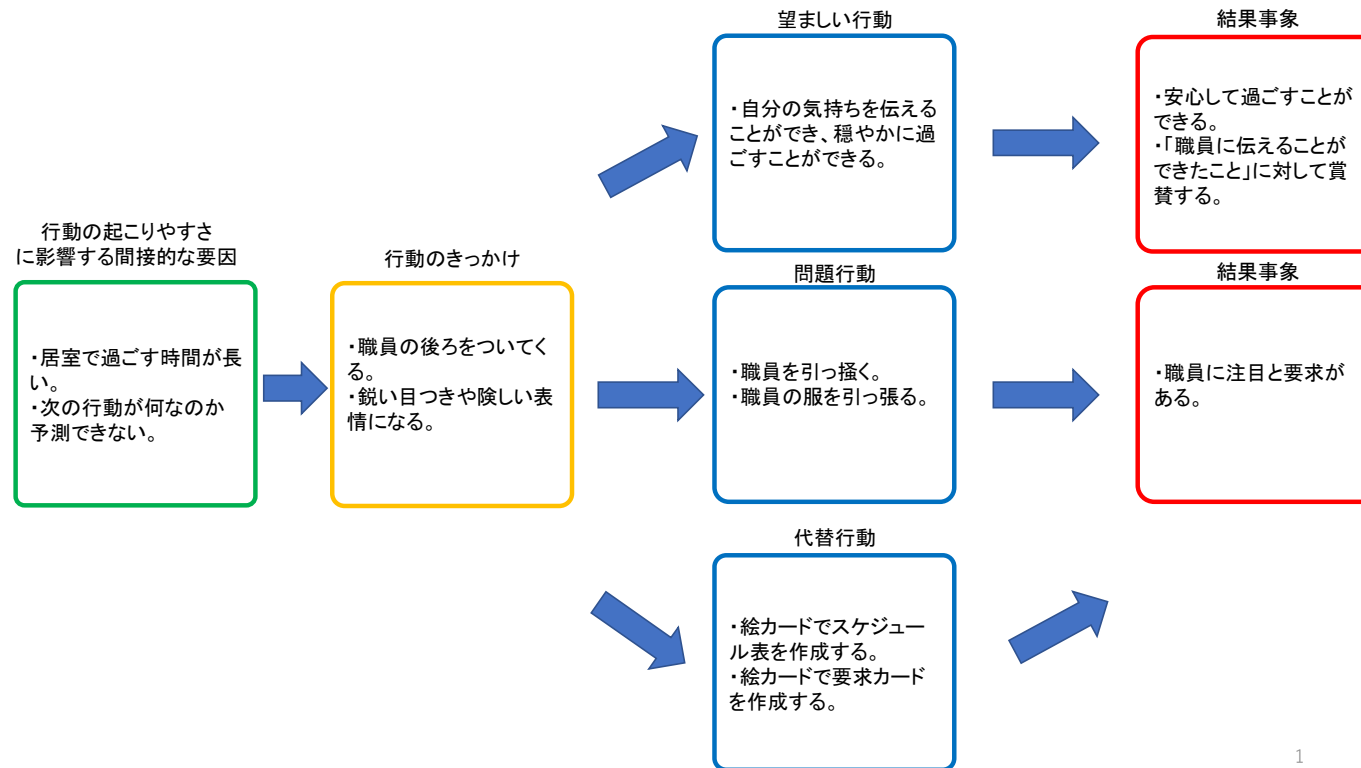
療育手帳：A1

当初の問題 行為の状況

- ・ 職員の服を引っ張る。
- ・ エスカレーターすると職員を引っ掻く。



当初の状況（ストラテジーシート）



ストラテジーシート

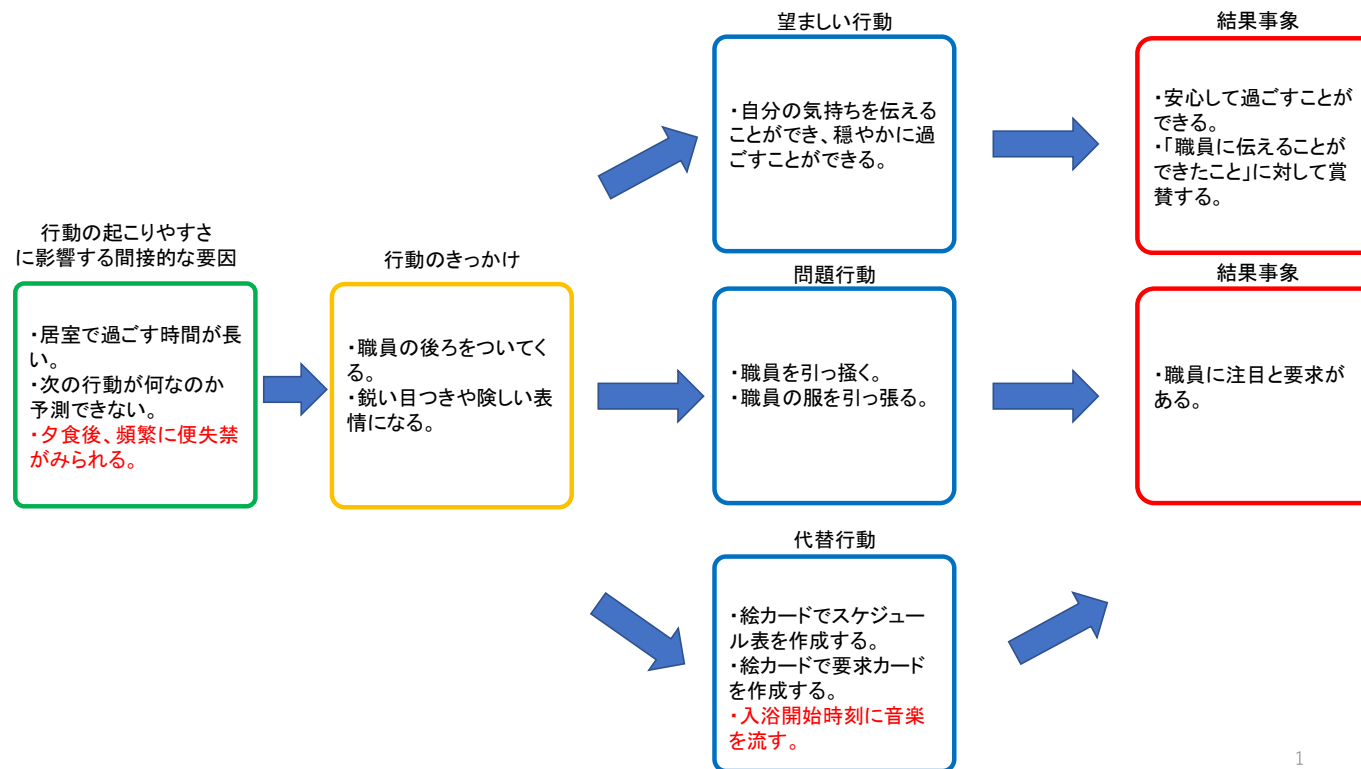
間接的な要因に関する方略	行動のきっかけに関する方略	行動を指導するための方略	結果事象に関する方略
<ul style="list-style-type: none">・居室で過ごす時間が多いため、なるべくAさんと楽しく過ごせる時間を設定する。・スケジュール表を使って、日々の行動を自分で認識し、自己管理スキルの獲得、見通し、安定感のある日常生活を提供する。	<ul style="list-style-type: none">・要求カードの中にAさんの好きな活動やものを取り入れる。またそれらを選択してもらう。・職員と一緒にスケジュール表を確認し、見通しを立てる。	<ul style="list-style-type: none">・「絵カードで伝える」を目標に設定して、達成度合いに応じて少しずつ要求カードを増やしていく。・職員の服を引っ張る、引っ掻かずに、職員へ伝える方法を提案する。	<ul style="list-style-type: none">・職員に伝えることができたなら賞賛する。・職員の服を引っ張る、引っ掻く行為がみられたら適切なコミュニケーション方法を思い出してもらう。

支援内容①

- 職員と一緒にスケジュール表を確認する。
- 要求カードに好きな活動やものを取り入れ選択してもらう。



現在（ストラテジーシート）



ストラテジーシート

間接的な要因に関する方略	行動のきっかけに関する方略	行動を指導するための方略	結果事象に関する方略
<ul style="list-style-type: none">・居室で過ごす時間が多いため、なるべくAさんと楽しく過ごせる時間を設定する。・スケジュール表を使って、日々の行動を自分で認識し、自己管理スキルの獲得、見通し、安定感のある日常生活を提供する。・夕食後、便失禁を確認後直ぐに入浴を開始しているが、入浴を開始する時間まで待つようにする。	<ul style="list-style-type: none">・要求カードの中にAさんの好きな活動やものを取り入れる。またそれらを選択してもらう。・職員と一緒にスケジュール表を確認し、見通しを立てる。・入浴開始時刻に音楽を流す。	<ul style="list-style-type: none">・「絵カードで伝える」を目標に設定して、達成度合いに応じて少しずつ要求カードを増やしていく。・職員の服を引っ張る、引っ掻かずに、職員へ伝える方法を提案する。・音楽が流れたら入浴ができるということを理解してもらう。	<ul style="list-style-type: none">・職員に伝えることができたら賞賛する。・職員の服を引っ張る、引っ掻く行為がみられたら適切なコミュニケーション方法を思い出してもらう。・入浴時間に入浴ができたら賞賛する。

支援内容②

- 職員と一緒にスケジュールを確認する。
 - 要求カードに好きな活動やものを取り入れ選択してもらう。
- ↓
- 入浴開始前に音楽を流すことで、始まりを理解してもらう。



当初の状況と最終結果の比較

- ・ 日中、夕食後に職員の服を引っ張り、エスカレーターすると職員を引っ掻くがみられる。



- ・ 日中は減少し、夕食後に職員の服を引っ張り、エスカレーターすると職員を引っ掻く行為が続いている。



- ・ 入浴開始前に音楽を流すことで、回数は減少してきている。



研修を受けて感じた施設の課題など

①職員の都合を優先した支援になっている。

②情報共有が不十分である。

③専門的な知識・技術が不足している。



研修を今後どう活かすか

- ①「子どもが主人公」の支援体制を整備する。
 - ②職員の情報共有を行い、支援を統一する。
 - ③伝達研修を行い、知識・技術の向上を図る。
- 